

平成17年1月31日

近畿日本鉄道株式会社

京阪奈新線の正式名称が「けいはんな線」に決まりました

～新しい3駅の正式名称も決定～

関西文化学術研究都市と大阪湾ベイエリアを結ぶアクセスとして期待されている京阪奈新線は、建設主体である奈良生駒高速鉄道株式会社と、完成後に施設を賃借し新線を運営することとなる当社において、現在鋭意整備事業を進めています。

平成16年8月には東生駒トンネル(3.6km)が貫通、3本のトンネル全てが完成し、既に工事全体の約8割が完成を見えています。また、新線で使用する新型通勤車両「7020系」も平成16年12月より東大阪線で運転開始しており、新線開業に向けた準備は順調に進捗しています。

そこでこの度、これまで仮に使用していた線名および駅名を改め、それぞれの正式名称を決定いたしました。線名は親しみやすいひらがな表記で「けいはんな線」とし、新たにできる3駅をそれぞれ「白庭台駅」「学研北生駒駅」「学研奈良登美ヶ丘駅」とします。

なお、開業時期については、平成18年3月の予定です。開業日については、後日決定のうえお知らせします。詳細は下記のとおりです。

記

1. 今回決定した正式名称

	従来の仮称	正式名称
線名	「京阪奈新線」	「けいはんな線」
駅名	しらにわ 「白庭駅」	しらにわだい 「白庭台駅」
	きたやまと 「北大和駅」	がっけんきたいこま 「学研北生駒駅」
	とみがおか 「登美ヶ丘駅」	がっけんならとみがおか 「学研奈良登美ヶ丘駅」

2. 開業予定時期 平成18年3月

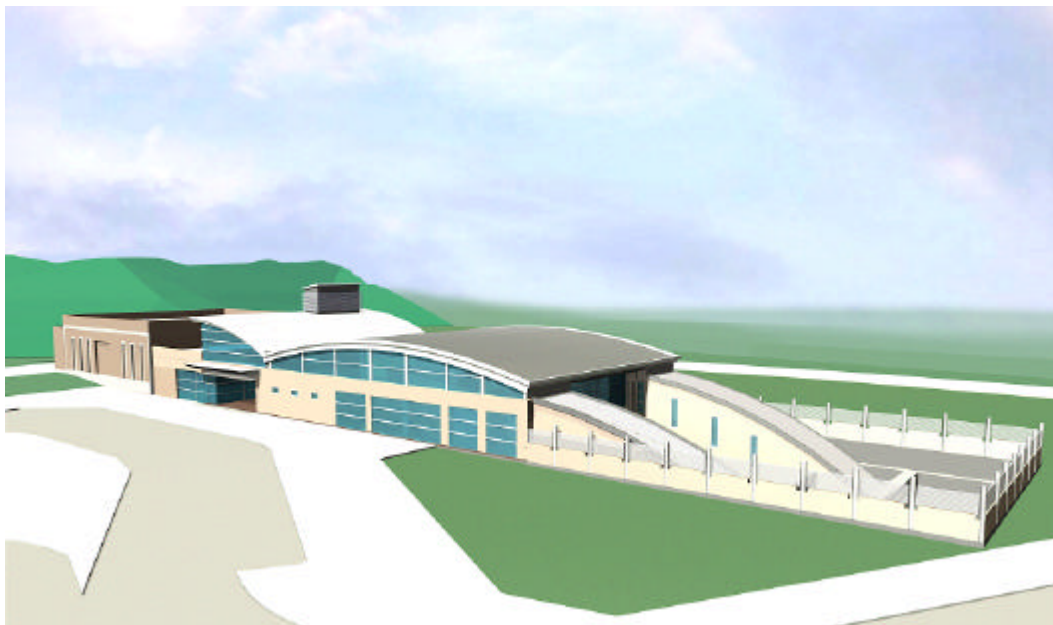
3. 新3駅の概要

(1) 「白庭台駅」(住所:生駒市白庭台6丁目2192-2)

周囲の丘陵との調和を心がけて屋根はやわらかくカーブした形状とし、大きなガラス

の窓が開放感を感じさせる駅舎です。ホームは、相対式ホーム2面が地下にあり、エスカレーター・エレベーターを各ホームに1基ずつ設置しています。幅広改札や多機能トイレなども設置し、バリアフリーに配慮した駅舎となっています。

「白庭台駅」イメージ



(2) 「学研北生駒駅」(住所：生駒市上町3535-6)

周辺道路からの視認性が高いので、駅の姿がはっきりと印象づけられるよう設計しています。外壁は、ガラスとアルミで透明・不透明の三角形が繰り返されるデザインとなっており、先端的なイメージの駅舎です。ホームは、相対式ホーム2面が2階にあり、エスカレーター・エレベーターを各ホームに1基ずつ設置しています。幅広改札や多機能トイレなども設置し、バリアフリーに配慮した駅舎となっています。

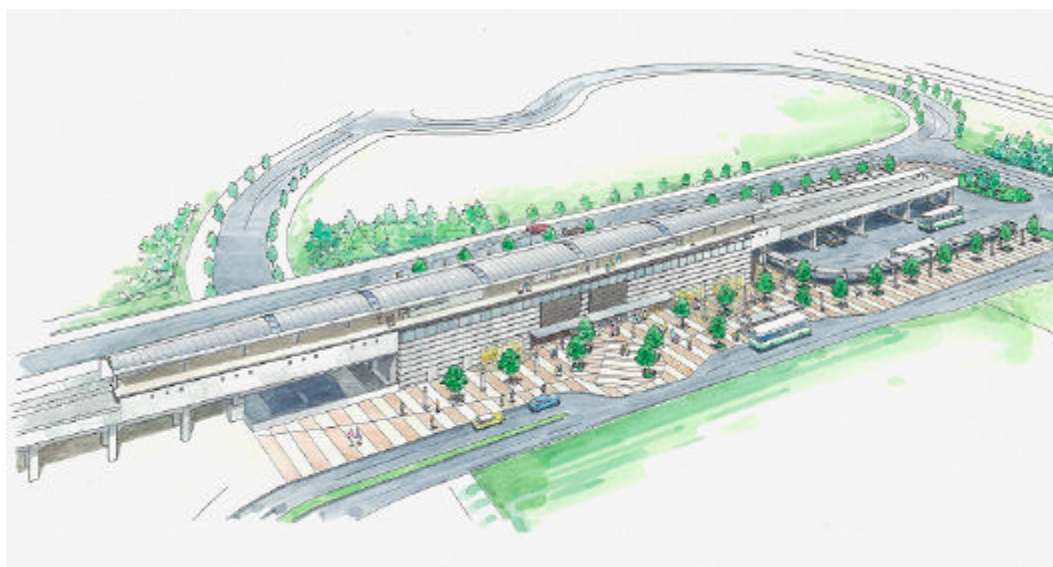
「学研北生駒駅」イメージ



(3) 「学研奈良登美ヶ丘駅」(住所：奈良市北登美ヶ丘1丁目14番)

「歴史と未来のクロスオーバー(橋をかける)」をコンセプトに、外壁に土の質感をしたタイルとシャープなガラスおよび金属を調和させ、過去から未来へと歴史が積み重なっていくさまを表現しました。ホームは、島式ホーム1面が2階にあり、エスカレーター・エレベーターを1基ずつ設置しています。幅広改札や多機能トイレなども設置し、バリアフリーに配慮した駅舎となっています。

「学研奈良登美ヶ丘駅」イメージ



4. けいはんな線の概要

- ・事業主体 建設：奈良生駒高速鉄道株式会社
運営：近畿日本鉄道株式会社
- ・区間 生駒駅～学研奈良登美ヶ丘駅
- ・営業キロ数 8.6 km(建設延長8.7 km)
- ・補助制度 国土交通省ニュータウン鉄道等整備事業費補助
- ・その他

「けいはんな線」完成後は、近鉄東大阪線、大阪市営地下鉄中央線、OTSテクノポート線と直通運転を計画していますので、学研都市の玄関口から大阪湾ベイエリアまでが一直線で結ばれ、本町など大阪都心とも所要時分30分台で結ばれることになります。

以上

参考資料

「けいはんな線」路線図

広域地図



周辺地図

